

メタボリックシンドロームにおける機能性食品の応用・利用

大野 智

金沢大学大学院医学系研究科
臨床研究開発補完代替医療学

近年、国民のメタボリックシンドロームに対する認知度は非常に高くなってきてはいるものの、その診断基準や病態生理まで完全に理解している人は案外少ない。メタボリックシンドロームの予防・治療においては対象者の行動変容がキーワードとなっており、運動負荷と食事制限がその中心となっている。しかし、運動負荷と食事制限には苦痛が伴うなどのさまざまな理由から、確実に実行に移し効果を挙げているケースは多くはない。そのため、対象者が、持続できる、実効が上がるということを考えると、いろいろな方法を柔軟に行っていくことが効率的であると思われる。その一つの例として機能性食品の応用・利用が考えられるが、科学的根拠に基づいたものでなければならないことは言うまでもない。さらに、科学的根拠に基づいた正確で分かりやすい情報を国民に積極的に提供していくことも今後の課題として残されている。そこで今回のシンポジウムでは、我々が取り組んでいるメタボリックシンドロームを対象とした機能性食品を用いたヒト臨床試験の概要や今後の展望について解説する。